

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第973回

2011年10月11日(火) 晴 第14回

～ 職業奉仕・米山月間 ～

斉唱 それでこそロータリー
 出席 会員61名(出席率算入人数56名)
 出席51名 出席率91.07%
 前々回補填率94.64%(9月27日分)
 ゲスト 米山奨学生 キム・ウォンギョンさん

10月の結婚記念日

2日 久米 伸治さん 6日 木下 福郎さん
 10日 川辺 清次さん 13日 山本 郁矢さん
 18日 森田敏二三さん 22日 伊藤 博昭さん
 25日 東山 直史さん 27日 三浦 和人さん
 31日 加藤 英敏さん

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

今日は、米山奨学生のキム・ウォンギョンさんをお迎えして、卓話をしていただく事になっております。

さて、国際ロータリー2760地区ガバナーから、「東日本大震災義援金に対するお願い」というものが届きました。1人あたり5,000円以上の寄付をお願いしたいという案内でございます。「ロータリー東日本震災復興基金」への義援金を募っているわけでございます。これにつきましては、先程の理事会で協議し、会長・幹事に一任という事でございます。我々としましては、強制するものではなく、各メンバーの自由意志で5,000円以上をお寄せいただける方にはお寄せいただきたいと考えますので、皆様のご協力を宜しく申し上げます。

さて、このような席でお話するのは何ですが、私の大学からの友人が亡くなり、昨日葬式に行っていました。まだ私は64歳で、彼もそうでした。学生時代から優秀な男で、横浜銀行に勤めておりました。彼は、20数年前早くも横浜銀行八重洲口支店の副支店長まで昇格しましたが、残念ながらその後すぐに糖尿病を発病しまして、20数年病と闘いました。

皆様の中にも、一生懸命仕事に頑張りながらも、

病氣をお持ちの方がいらっしゃるかも知れません。くれぐれも健康にご留意願えればと思います。そんな近況をお伝えして、会長あいさつに代えさせていただきます。ありがとうございます。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 新入会員推薦の件です。坂田信子さんのご推薦で大平明子さん、加藤英敏さんのご推薦で江松央統さん、33歳という名南始まって以来の若い方と女性会員という、今期のRI会長のお話に沿ったご推薦でございます。先程の理事会で承認されましたので、早速皆様にはFAXで2人のプロフィール等通知をさせていただいて、なるべく早い機会に入会という段取りにしたいと思っております。
2. 来週は、加藤英敏さんの会社、カネハツ食品さんに於いて職場例会となっておりますので、お間違いの無いようお願いいたします。

ニコボックス

- ◆ キム・ウォンギョンさんの卓話楽しみにしています。

加藤 英敏さん 川瀬 悟さん 伊藤 圭一さん
 白藤 憲雄さん 牧野 好弘さん 山本 誠一さん
 野々村憲吾さん 林 隆二さん 太田 敦士さん
 長尾 浅吉さん 森田敏二三さん 三浦 和人さん
 細井 俊男さん 中村 勝さん 佐々木元彦さん
 榊原 和美さん 出田真太郎さん 木下 福郎さん
 久米 伸治さん 田中 省三さん 杉山 隆秀さん
 宮崎 良一さん 鈴木 一博さん 宮本 浩史さん
 杉本 勇さん 川辺 清次さん 白銀 義昭さん
 安藤 修さん 浅井 浩さん 武藤 正行さん
 伊藤 博昭さん 鈴木 清詞さん 東山 直史さん
 黒田 康正さん 田中 一雄さん 三島多恵子さん
 入谷 直行さん 三浦 隆さん 朝比美和子さん
 犬飼りさ枝さん 有川 英敏さん 新原 尚さん

- ◆ 10月8日・9日と木曾駒ヶ岳と宝剣岳を登りました。氷点下10度の山頂からの御来光、感動しました。榊原さん、ありがとうございます。

木村 猛さん

- ◆ 先週、家内が無事退院して参りました。この2ヶ月心中おだやかでなく、やっとひと安心です。ありがとうございます。 児島 徳和さん

本日合計 50,000円 累計 510,000円

■米山奨学生カウンセラー

坂田 信子さん

こんばんは。本日は私がカウンセラーをさせていただいております、キム・ウォンギョンさんの卓話です。

今日の内容は、キム・ウォンギョンさんの生い立ちと、日本で今お勉強中の事について、詳しくご報告となります。どうぞご期待下さい。



■米山奨学生

キム・ウォンギョンさん

アニョハセヨ。

私の名前は、苗字がキムで名前がウォンギョンです。韓国は、人口が約4,800万人で日本の3分の1位です。面積は、日本の4分の1位です。首都はソウルで、私が生まれ育った所は光州という所です。光州は、韓国の大都市の中の1つになります。昔から芸京の都市とも言われており、芸術を愛する人が多く、芸術関係者を多く輩出している地域であります。歴史的には、80年に起きた光州事件でも有名な街です。韓国の中では民主化の聖地と言われている、民主化を求める活動家と、それを支持する学生と市民が当時の韓国軍と衝突して、多数の死傷者を出した事件です。故金大中大統領の活動拠点地としても有名です。金大中大統領は1998年～2003年の期間中在任していて、98年に大統領になった時、私は高校1年生でしたが、光州中の人々が本当に喜んでいたのが、今でも鮮明に思いに残っています。



私の名前のキムですが、韓国の中には約280種類の苗字があると言われており、その中でキムが一番多くて、韓国国民の約5人に1人がキムと言われています。キムが21%で、イ、パク、チェ、チョンの順番になり、多いのはこの5つになります。キムといっても、皆が同じ親族な訳ではありません。まずどこのキムかというのがあり、その次にどこの派かで分かれています。私は、「光山金氏」の「文正公派」で、ここが一緒だと結婚できないのがルールとなっています。「光山金氏」は、新羅の王子公の興光という方が元々の先祖であると言われています。

私は、父、母、姉の4人家族です。姉は結婚してソウルに住んでいるので、両親だけが光州に残っており、スカイプを使ってインターネット電話をよくしています。父は元々光州の起亜自動車に務めていましたが、98年に現代自動車に買収された時に辞めてしまいました。それからソウルの中小企業に移り、私も高校3年の時にソウルへ転校しました。そのお陰で、世界は広いという事が分かりました。光州に居る時は、少し天狗になっていた気がしますが、ソウルへ行ったら皆がすごく優秀で、0.01の成績差でピリピリするのを経験して、もっと広い所で勉強したいという思いが強くなりました。

私は高校卒業してすぐ2000年4月に日本に留学しました。たまたま光州で通っていたサレジオ会というカトリック系の学校から、高校を卒業した人達を

対象に、奨学生として日本に来るチャンスがあり、運良くそれに受かって、東京にあるサレジオ会の学校である育英工業専門学校へ来ました。工専は5年生の学校なので、高校卒業した人は4年生と5年生を勉強すれば良い事になっていて、私は3年生に編入して1年間日本語の勉強をし、4年生と5年生を卒業しました。最初は情報工学科でパソコンの勉強をしていましたが、自分には合わない事に気付き、やはり福祉をやりたいと思い、2003年に上智大学文学部の社会福祉学科へ入学しました。

上智大学は留学生が多い大学で、韓国人だけでも100人以上いて、韓国留学生会でよく集まりがありました。また、社会福祉学科の中でも教職が取れるようになっていて、大学4年の時に社会福祉学科の高校教員の免許を取り、栃木県立真岡北陵高校で教育実習をしました。

上智大学は小規模の大学ですので、社会福祉学科の同期は約60人位でした。皆仲が良くて、すごく良い環境で4年間勉強しました。そのまま上智大学の大学院に進み、修士課程も社会福祉学を勉強しました。そして、大学院修士課程の指導教員の先生が、2009年に定年となり日本福祉大学に移られるという事で、私も先生を追いかけて一緒に名古屋に来る事になりました。そこで2009年4月に、日本福祉大学大学院の博士課程に入り、今年で3年目になります。9月末に博士論文の第一次提出があり、何とか出す事ができました。まだ審査や公開発表をクリアしないと学位取得には繋がりませんが、先生もすごく熱心に指導してくださるので、3年間の間に卒業したいと思っています。

ここからは、私がどのような勉強をしているかという内容の話です。福祉の勉強をしたと思ったのは、小さい頃からの環境があったと思います。私は、中学校を除いた全ての学校を、カトリック系の学校に通ってまして、小学生の時もシスターの学校だったので、老人ホームや障害児の子供の家に遊びに行ったり、親がいない子供達が集まっている家に遊びに行ったりという事が、年中ありました。そういう中で、私が何かをして喜ぶ人の姿がとても嬉しくて、こういう事を仕事にできればと思っていましたが、90年代の韓国は、福祉=ボランティアのイメージが強かったです。

日本に来てすごく驚いたのが、沢山の高齢者が昼間におしゃれをして色々な所へ出掛けている事でした。当時、光州では、高齢者は町の中にあるちょっとした集まりの場所で、昼間を過ごして帰るのが当たり前の日課でした。この差は、日本は年金制度がしっかりしていたり、高齢者が働ける環境が整っていたり、社会保障であったり、福祉の基盤が出来ているからだに気付き、福祉の勉強がしたいと思い、福祉の勉強を始めました。そして、大学4年生の時に実習で行った施設での出来事から、今のテーマである認知症高齢者の家族を支援する事を選ぶようになりました。

何故かと言うと、たまたま行った高齢者施設で実習をしていたら、いつも笑顔であいさつをしてくれた認知症がある高齢の男の方が、ある日突然あいさつをしたらほっぺを叩いてきました。私はとても驚き、泣いてしまいました。その方の奥さんは毎日のように朝と夜に来て、食事の介助等を笑顔で熱心に

されてきました。しかし、多分私達に見えない所で、家族の方も何かしら色々な苦勞が絶対あるのだろうと思いました。私は全く第三者なので、叩かれてもある意味仕方ないと思えますが、もし自分の家族がそういう事をやったらどれだけショックだろうという思いから、家族の立場を支援したいという気持ちで、今の研究をやるようになりました。

日本の場合、2010年現在、65歳以上の高齢者が20%を超えています。その内、介護保険制度が利用できる、要介護と要支援の認定者が464万人、高齢者の16.4%です。その認定者の2人に1人が「何らかの介護・支援を必要とする認知症のある高齢者」と言われており、そのおよそ4人に1人は「一定の介護を必要とする認知症がある高齢者」です。

日本と韓国の高齢者の人口ですが、日本の場合、5人に1人以上が高齢者となっています。韓国は日本ほど高齢化は進んでいません。今現在、10人に1人が高齢者と言われています。しかし、韓国でも少子化が進んでおり、韓国の合計特殊出生率は1.03とすごく低くなっています。これは急激な社会問題と言われています。認知症高齢者の人は、日本に比べれば数的には少ないですが、これはとても重要な問題だと韓国政府も認識をしていて、2008年位から政府としても認知症と戦っていきましょうという事をやっています。

認知症高齢者介護対策の展開過程として、日本では元々家族が介護をするのが当たり前と言われてきました。家族が介護する事を前提に、家族が介護できない人を施設で受け入れるという事で、87年に施設に痴呆性老人加算をやりました。その後やはり家族が介護をやるにしても、ある程度の支援が必要という事で、92年デイサービスを作りました。97年にはグループホームを作り、2002年、2006年と地域の人々がみんな一緒に見守っていきましょうという流れに変わってきています。

主な研究内容は、地域で暮らす認知症高齢者と、その家族介護者が住みやすい地域を作るために、「家族会」を中心に、市町村レベルでの支援策について事例調査を通して模索するという事です。「家族会」は色々な地域に市町村レベルで作られています。全国組織としても、「認知症の人と家族の会」というのがありますが、都道府県レベルですので、範囲が広く、支部の近くにいる人しか参加ができません。そのため市町村レベルでの「家族会」の機能を見ています。「家族会」では、専門家には聞きにくい事等を、お互いに同じ立場で話し合っ、情報交換ができたり、他の人の話を聞いたり、励まされてリフレッシュができたりと、色々な効果があるという事で、海外ではその効果が認められています。私の場合、福祉の立場で「家族会」の活動を支援する事が、もっと色々な地域の福祉サービスに繋げる役割ができるのではないかと研究として見ています。

また、今年からRCのお世話になっていて、とても重要な博士課程の3年生の時期に、勉強だけに集中できるようになりました。また、奨学生を対象に色々なプログラムがあり、10月1日には他のRCにいる奨学生やカウンセラーの皆さんと奈良に遊びに行きました。このRCから奨学金を頂くだけでなく、名古屋市内にいる他のクラブの奨学生とも交流が出来

てとても楽しく、勉強も私生活も充実して過ごしています。

第975回例会(10月25日)のご案内

会員卓話

小山 慎介さん・鈴木 清詞さん

■ 10月度理事会 議事録 ■

報告者 本多 利郎さん

日時 2011年10月11日(火) 17:00～
場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F「パイン」
出席者 山本、伊藤、中西、宮寄、入谷、
榊原、久米、鈴木、武藤、浅井、
東山、木村、本多、細井

17名中14名参加

◎審議事項

一、新入会員推薦の件 <幹事 入谷 直行さん>
大平 明子さん、江松 央統さん、入会承認

◎協議事項

一、ガバナー事務所よりの震災義援金依頼の件
<幹事 入谷 直行さん>
会員へ義援金の寄付を募る。

◎報告事項

一、会計中間報告の件 <会計 榊原 和美さん>
本部地区費関係は7月1日付人数59名での支払いとなっている。入会者2名(再入会含む)により61名分の会費収入あり。

一、10 / 25、11 / 8 会員卓話の件
<会場運営・プログラム委員会 木村 猛さん>
10月25日 鈴木 清詞さん、小山 慎介さん
11月8日 吉木 邦男さん

一、11 / 1 委員会担当卓話の件
<ロータリー財団委員会 東山 直史さん>
地区ロータリー財団委員長 深谷 友尋さんによる卓話

一、11 / 29 ゆったり例会の件
<親睦活動・家族委員会 本多 利郎さん>
日本料理「太河」にて行う

◎その他

一、次年度地区補助金事業
市内24RC社会奉仕事業提案の件
<会長 山本 郁矢さん>
会長エレクト・副幹事・次年度各委員長と事業計画を立てる。

※次回のご案内

11月8日(火)
名古屋マリオットアソシアホテル
17F「パイン」 17:00～